

各島の基本情報

区 分		大島町	利島村	新島村		神津島村	三宅村	御蔵島村	八丈町	青ヶ島村	小笠原村	
		大島	利島	新 島	式根島	神津島	三宅島	御蔵島	八丈島	青ヶ島	父島	母島
東京からの直線距離		109 km	134 km	151 km	157 km	173 km	180 km	199 km	287 km	358 km	984 km	1,033 km
面 積		90.76 km ²	4.12 km ²	23.64 km ²	3.88 km ²	18.58 km ²	55.50 km ²	20.54 km ²	69.11 km ²	5.96 km ²	23.45 km ²	19.88 km ²
周 囲		約52 km	約8 km	約42 km	約12 km	約22 km	約38 km	約16 km	約59 km	約9 km	約52 km	約58 km
人口	世帯	4,093	170	1,057	254	885	1,451	173	4,109	114	1,192	256
	人口	6,535	284	1,901	458	1,688	2,165	293	6,741	157	1,988	413
気象	平均気温	16.4℃	—	17.6℃	—	17.2℃	18.0℃	—	18.0℃	16.7℃	24.3℃	—
	平均湿度	76.0%	—	—	—	—	76.0%	—	79%	83%	82%	—
	降水量	2,858mm	2,629mm	2,225mm	—	2,271mm	3,024.7mm	—	3,306mm	2,840.5mm	1,034mm	1,261mm
	平均風速	4.9m/s	—	4.2m/s	—	5.8m/s	5.6m/s	—	4.8m/s	4.7m/s	3.3m/s	—
各島の魅力PR		伊豆大島【日本ジオパーク】 ジオパークとは、自分たちが暮らす大地（ジオ）の成り立ちや特徴をよく知り、その地域だからこそ育まれた景観や動植物、人々の暮らしを大切な宝物として守りながら、教育・防災・産業振興などに活用している地域のことを言います。大島町はこのジオパークの理念に基づくまちづくりを推進しています。伊豆大島は4～5万年前に始まった海底噴火によって誕生し、今の島の形を形成したのがおよそ2万年前、まだまだ若く活発な火山島です。	利島村は、約20万本の樺の木に囲まれる樺の島です。利島小中学校は、伊豆諸島初の義務教育学校として、離島・極小規模校の強みを生かした小中一貫教育を行っています。また「教師が育つ島」として教師自身が成長できる環境を整えています。島の子供たちと一緒に成長したい、意欲ある先生をお待ちしています。	新島村は新島と式根島の二つの島で一つの村を成しています。新島は七島随一の長い砂浜海岸を有しており、東海岸は国内有数のサーフィン場としてプロ・アマの大会も開催されています。島で産出される「コーガ石」を材料に作られる「新島ガラス」や「モヤイ像」のほか新島が元祖といわれる「くさや」が有名です。24時間無料のギリシャ宮殿風の露天温泉も自慢です。	村営船で新島と10分で行き来できる式根島は「式根松島」と呼ばれるように波穏やかな風光明媚な入江海岸を擁つて有しており、家族連れに人気の島です。潮の満ち引きにより湯温が変わる海中温泉など3つの露天温泉もあります。また磯場が多いことから年間通して釣り客が多く来島されるなど、アットホームで温かさを感じることができる島です。	どこまでも透き通った海と美味しい水の島 ○小中学校（各1校）設置。 ○小中合同研修（道徳・体育・総合学習）を通年実施。 ○小中教員の共通授業指針、「めあて」と「まとめ」（評価と運動した）を意識した授業の実施。	約260種の野鳥が観察でき「バードアイランド」と呼ばれる自然の宝庫です。火山や温泉、黒潮の流れから釣りやダイビングも盛んであり、雄山火山体験も行われています。また、日本最大級のボルタリング施設もあり、最近では、多くの巨樹が目立っています。令和7年度より、島内小中学校にコミュニティスクールを導入し、地域全体で学校づくりに取り組んでいます。	東京から南に200km、伊豆諸島のど真ん中の類稀なるミクロコスモス、いやミクラコスモス（御蔵小宇宙）なのです。人口約300人。小・中学校併設校で、島内唯一のエレベーター付き6階建て校舎で児童・生徒が学んでいます。海には150頭のイルカたち。巨樹の森では100万羽の海鳥が子育てしています。人と自然が共棲する東京の異空間です。	・島の豊かな自然や文化を生かした教育活動や小中一貫型教育を実施。運動会などの行事は地域ぐるみの参加型 ・大型スーパー2軒、商店、飲食店多数、郵便局、みずほ銀行、七島信用組合あり。光回線整備済。携帯電話はドコモ、ソフトバンク、AU利用可。医療：町立八丈病院（内科、外科等）。歯科複数。保育園：4園。	世界でも珍しい不思議な形の二重式火山島。日本最少の自治体。小中学校併設・オープンスペース教室で小・中学生が日常的に交流。豊かな大自然を体感しながら、子供たちの未来のため、日々教育に取り組んでいます。保育園あり。	小笠原諸島は、2011年に国内4か所目となる世界自然遺産に指定されました。小笠原諸島の玄関口でもある父島は、子供の数も多い活あふれる島です。青い海に白いビーチという南国ならではの景色が広がり、年間を通して多くの観光客が訪れます。島しょ校の中では学級規模も大きいため、賑やかに充実した教育活動を行うことができます。	母島は、父島からさらに50km南にある自然豊かな島です。土壌が豊かなため湿性高木林が発達しており、パッションフルーツをはじめとする農業も盛んです。集落もコンパクトにまとまっており、人と人との繋がりを感じる温かく落ち着いた島です。義務教育学校である母島小中学校では、施設一型校舎や少人数学級を活かした小・中一貫教育の推進に力を入れています。
主な交通手段	航路	船舶名（竹芝発） 便数（所要時間）	さるびあ丸 週1～7便（8h）	さるびあ丸 週1～7便（9h40m）	さるびあ丸 週1～7便（10h35）	さるびあ丸 週1～7便（11h05m）	さるびあ丸 週1～7便（12h）	橘丸 1日1便（6h30m）	橘丸 1日1便（7h30m）	橘丸 1日1便（11h）	伊豆諸島開発（八丈島～青ヶ島） 週4～5便（3h）	おがさわら丸 月5便（24h）
		船舶名（竹芝発） 便数（所要時間）	高速ジェット船 日2～3便（1h45m）	高速ジェット船 日1便（季節により変動）（2h25m）	高速ジェット船 日1～2便（季節により変動）（2h50）	高速ジェット船 日1～2便（季節により変動）（3h10m）	高速ジェット船 日1～2便（季節により変動）（3h40）	— —	— —	— —	— —	— —
		その他	—	—	—	村営船（日3便）あり（式根島～新島）	—	—	—	—	—	—
		区間 便数 事業主 所要時間	調布～大島 日2便（季節により変動） 新中央航空 0:25	大島～利島 日1便 東邦航空（ハリ） 0:10	調布～新島 日4便（季節により変動） 新中央航空 0:40	— — — —	調布～神津島 日3便（季節により変動） 新中央航空 0:45	調布～三宅島 日3便（季節により変動） 新中央航空 0:50	御蔵島～三宅島 御蔵島～八丈島 日1便 全日本空輸 0:10 0:25	羽田～八丈島 日3便 東邦航空 0:55	八丈島～青ヶ島 日1便 東邦航空 0:20	— — — —
小学校	学校数	3校	1校※	1校	1校	1校	1校	1校	3校	1校	1校	1校※
	児童数	262名	19名	77名	19名	109名	100名	25名	317名	5名	106名	23名
	教職員数	52名	10名	19名	14名	17名	19名	12名	44名	9名	16名	10名
中学校	学校数	3校	1校※	1校	1校	1校	1校	1校	3校	1校	1校	1校※
	生徒数	146名	6名	42名	13名	48名	38名	11名	133名	5名	62名	8名
	教職員数	48名	11名	18名	14名	18名	19名	13名	48名	12名	14名	13名
高校	学校数	2校	—	1校	—	1校	1校	—	1校	—	1校	—
	生徒数	300名	—	36名	—	46名	23名	—	125名	—	53名	—
住宅平均使用料		8,880	8,617	8,645	8,582	8,404	9,744	7,967	9,797	8,809	10,460	8,757
へき地手当		15/100	23/100	19/100	23/100	19/100	23/100	25/100	19/100	25/100	25/100	25/100

※義務教育学校